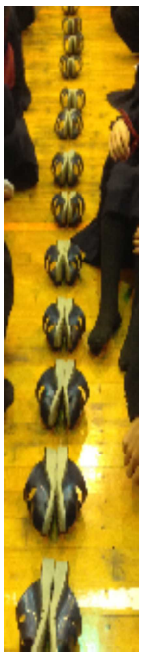
Ｊ Ｍ Ｈ 豊陽

すごい！豊陽生

Ｊ：自分がする
Ｍ：みんなとする
Ｈ：ほ め あ う

発行責任　豊陽中学校
校長　山香　昭

集会時の姿勢・態度



始業式、入学式、学年集会、そして遠足と、集会を行う度に生徒の態度が良くなりました。特に遠足時の体育館の集合時は、三年生が素早くできたため予定よりも早く開始できました。また、写真のように、二年生のスリッパは最初から一直線に揃っており、今では全学年が揃えるようになりました。そのような先輩に囲まれているせいか、一年生の話しを聴く姿勢や態度は素晴らしく、とても気持ちが良いです。

授業中の姿勢・態度

右の写真は英語の授業の様子です。真剣に考え、そして協力し合って英文をつくりあげています。今年度に入って、二，三年生の授業に対する姿勢がとても前向きです。「私は成長したい」「ワンランク上を目指したい」そんな気持ちが伝わります。一年生は集中力があり、これからがとても楽しみです。全学年共に、とても良いスタートがきれました。

絶対伸びる伸ばします

「変わりたい」そんな子どもの思いに応えるよう、我々教職員も一生懸命頑張ります。

保護者、地域の方にお願いです。豊中に足を運んで頂き、子どもたちのありのままの姿を見て、ほめてください。ご助言ください。

「チーム豊陽」で、全ての豊陽生を伸ばしましょう。

入学式　校長式辞

＜前略＞・・新入生１２８名の皆さん。ご入学、誠におめでとうございます。＜中略＞これから始まる中学校の３年間は、人生で最も変化の多い時期であり、誰もが通る大人への成長の出発点と言われています。

そこで、皆さんに、本校における今年度の行動目標を３つお伝えします。それは、**「自分がする」「みんなとする」「ほめあう」**です。

一つ目の**「自分がする」**とは、誰かがよくしてくれる、誰かが助けてくれると待っているのではなく、自分から行動を起こすということです。もちろん、行動を起こす前に、先生や友人に相談することは大切ですが、困難なことであっても、自ら考え挑戦すれば、それは大きな自信につながります。仮に失敗しても、そこから多くのことを学ぶことができ、強い人や優しい人になれると思います。

二つ目の**「みんなとする」**とは、「協力する」ことです。一人の力は小さくても、みんなと助け合うことで大きな力となり、不可能と言われたことが可能になることもあるでしょう。また、吹奏楽や合唱のように、一人ひとりの個性が調和することで、新たなものや美しいものが創造されていきます。

三つ目の**「ほめあう」**ですが、ほめるとは「おだてる」とか「ご機嫌をとる」ことではありません。ほめるとは、「相手の価値を発見して伝える」ことです。まだ相手が気づいていない長所や魅力を見つけ、それを相手に伝えることで、安心、信頼できる仲間や学級集団が生まれます。

明日の朝からは、①自分がすること②協力すること③ほめることの３つの目標を決め、実行してください。帰りの会では、自分からやったこと、友達を助けたこと、誰をほめたか、ありがとうを言ったか。逆に、誰からほめられたか、ありがとうと言われたか。と一日を振り返ってみてください。そんな、小さな行動であっても、毎日行うことで、自分のことが好きになり、周りの人も好きになっていきます。そして、「夢の実現」という大きな目標を叶えることにもつながることでしょう。＜中略＞

保護者の皆様方、お子様のご入学、誠におめでとうございます。本日から、かけがえのない大切なお子様をおあずかりいたします。我々は**「ピグマリオン効果」を信じます。**ピグマリオン効果とは「人は期待通りの成果を出す傾向がある」ということです。「子ども達はきっと立派な大人になる」ことを信じながら、全教職員、心を一つにして努力することをお誓いします。**一人も見捨てることはありません。**是非とも、本校の教育活動にご理解を賜り、ご支援とご協力をいただきますよう、心からお願い申し上げます。＜中略＞

新入生をはじめとする、本校生徒３６５名の輝かしい未来を祈念して式辞と致します。

貴重な情報が超満載!「学年通信」

保護者の皆様。「学年通信」読まれていますか。子どもさんの様子だけでなく、学力向上や受験情報など貴重な情報が満載です。これを見逃す手はありませんよ。

なお、校長室前には各学年の通信や、がんばる子どもの写真を掲示しています。学校にお越しの際は是非ともご覧ください。

山ちゃん校長のひとりごつ①

昭和三八年七月四日、北九州市戸畑区で生まれ、高校までは同市で育ち、なぜか大分県の採用試験を受け、最初の赴任地が中津市でした。緑中、中中、城南中にも勤務しましたが、豊陽中には平成五～一四年度までの九年間勤務しました。担当教科は数学、理科。生徒会や剣道部の顧問、そして、当時最先端だった情報教育に、環（たまき）教頭先生達と一緒に取り組みました。ちなみに私の長男は豊陽中に着任した年に生まれたので「陽平（ようへい）」と名付けました。

その頃は、女子バレーボール部の全国優勝をはじめ、野球部、吹奏楽部、女子バスケットボール部、女子テニス部、水泳部、相撲部は九州大会に出場。生徒会の校則改正の取組は全国放送で取り上げられ生徒会役員は東京のＮＨＫスタジオで収録。生徒が作ったホームページが全国コンクールで日本一！**「学校といえば豊陽」**と言われる勢いがありました。

そのような歴史と伝統のある豊陽中に再び赴任できたことは大変嬉しく思うと共に、その責任の重さを感じてます。生徒も保護者も職員も「豊陽中で良かった」と思って頂けるよう、粉骨砕身、がんばります。